

目標達成計画

作成日: 令和 6年 2 月 26 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する 期間
1	7	虐待において、認知症に対する理解が必要不可欠である。わかってはいても、忙しさやストレスにより虐待に繋がる行為があるかもしれないので、精神状態のコントロールや認知症の症状について理解を深めたい。	虐待に繋がるような行為を見かけたら、職員同士で注意し合える環境を整える。	ユニット会議にて年に2回、虐待について勉強会を実施する。また、外部研修にも積極的に参加する。	12ヶ月
2	12	職員のモチベーションを維持するために、半年ごとの目標を設定し、PDCAサイクルを活用しながら、目標達成を目指したい。	各職員が目標を決め、その目標に向かって日々の業務に取り組む。	年に2回、自己評価を行い、面談を実施する。定期的に目標の進捗状況を確認しながら業務に取り組む。	12ヶ月
3	35	看取りについて、ご家族の理解を深めるとともに、日々の状態確認や主治医との連携を図りたい。	看取りになるご利用者様がいた場合、ご家族、主治医と連携を取り、安心して看取れる環境を整える。	契約時、ご家族から看取りの同意を得る。また、看取りになる場合は、改めてご家族や主治医と話し合いの場を持ち、共通理解に努める。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月